

ことぶき介護生活援助従事者研修（通学）情報開示内容

（１）研修機関情報

法人情報

法人格 特定非営利活動法人
法人名称 特定非営利活動法人ことぶき介護
代表者名 理事長 徳茂万知子
研修担当理事 理事 金子洋子
住所 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 303 号室

研修機関情報

事業所名称 特定非営利活動法人ことぶき介護
住所 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 303 号室

理念

- ①介護保険や障害者総合支援サービスの利用者の個性・多様性を尊重し、公的サービスを有効に活用して、地域で幸せに暮らせるお手伝いを行います。
- ②日々の仕事を通じて、ここの職員が能力・長所を伸ばし、どこで働いても恥ずかしくないと思えるプロフェッショナルとしてのスキルを身に付けられるようにします。
- ③地域住民・地域機関・行政などからの要請にはできる限り協力し、外部機関と有機的に連携することで地域社会に密着した質の高いサービスを提供します。

学則 別紙 1、学則 ✓

研修施設、設備 別紙 2 / 研修施設、設備 ✓

（２）研修事業情報

研修の概要

●対象

横浜市中区役所から受託している仕事チャレンジアシスト事業の「仕事チャレンジ講座」の講習に参加している方のうち、生活援助従事者研修を希望する方。

●研修のスケジュール（期間、日程、時間数）

期間 2022年10月11日～2022年12月27日
日程 別紙3 研修日程表 ✓
時間数 59時間

●定員（集合研修、実習）と指導者数

定員 10名（集合研修、実習）
指導者数 12名

●費用

0円

●留意事項、特徴、受講者へのメッセージ

留意事項

研修希望は、仕事チャレンジ講座の講習に参加している方が希望できます。

特徴

法定 59 時間の研修を、毎回 2 時間ごと 30 回の参加で修了できます。

受講者へのメッセージ

生活援助中心型の人材のすそ野を広げるため、今回の研修を行います。

研修は最後まで受講を続けられる方の参加をお願いします。

課程責任者

●課程責任者名

梅田 達也 特定非営利活動法人ことぶき介護管理者

研修カリキュラム

●科目別シラバス

別紙 4 のとおり。

●科目別担当教官名

別紙 5 のとおり

●科目別特徴

演習の場合は、実技内容・備品・指導体制

別紙 4 のとおり

修了評価

●修了評価の方法、評価者、再履修等の基準

別紙 1 「学則」 1 3 研修修了の認定方法のとおり

実習施設

●協力実習機関の名称・住所等

●協力実習機関の介護保険事業の概要

●協力実習機関の演習担当者名

●実習プログラム内容、プログラムの特色

●実習中の指導体制・内容（振り返り、実習指導等）

●協力実習機関における延べ人数

別紙 6 のとおり

(3) 講師情報

●名前

●略歴、現職、資格

別紙 7 のとおり

(4) 実績情報

●過去の研修実施回数（年度ごと）

2021 年度 1 回

- 過去の研修延べ参加人数（年度ごと）
2021年度 6人

(5) 連絡先等

- 申し込み・資料請求先
公益財団法人横浜市寿町健康福祉交流協会
仕事チャレンジアシスト事業担当
電話 045-662-0503
- 法人の苦情対応者名・役職・連絡先
苦情対応者 梅田達也
特定非営利活動法人ことぶき介護・管理者
電話 045-662-0213
- 事業所の苦情対応者名・役職・連絡先
苦情対応者 梅田達也
特定非営利活動法人ことぶき介護・管理者
電話 045-662-0213

(6) 質を向上させる取り組み

研修時の最後にアンケートをとり、次回の研修の改善に活かす。

学 則

1 事業者の名称及び所在地	(事業者名) 特定非営利活動法人ことぶき介護 (所在地) 〒231-0025 神奈川県横浜市中区松影町 2-7-17 リバーハイツ石川町 303 号室
2 研修事業の名称	ことぶき介護 生活援助従事者研修 (通学)
3 研修課程及び形式	生活援助従事者研修 通学課程 (<u>通学</u> ・ 通信)
4 開講の目的	自立のために就職や増収を目指している、生活保護を受給している方や、生活困窮者の方を対象に行われている横浜市の「仕事チャレンジアシスト事業」の一つのプログラムとして、介護現場で働くための基本的な知識と技術を身に着けた人材を養成し、介護人材の確保に貢献する。
5 研修責任者及び研修コーディネーターの氏名 研修担当部署 研修担当者及び連絡先	研修責任者 梅田 達也 研修コーディネーター 梅田 達也 研修担当部署 ことぶき介護研修部門 研修担当者 梅田 達也 連絡先 045-662-0213
6 受講対象者(受講資格)及び定員	自立のために就職や増収を目指している、生活保護を受給している方や、生活困窮者の方を対象に、生活・社会講座及び技能習得訓練などを 2 か月間で行っている横浜市の「仕事チャレンジアシスト事業」に参加している方。定員 10 名。
7 募集方法 (募集開始時期・受講決定方法を含む) 受講手続及び本人確認方法	横浜市の「仕事チャレンジアシスト事業」参加者のうち、本講座の受講を希望する方。開校日の 7 日前から募集開始。応募者多数の場合は抽選により選考する。 所定の申込用紙に記入し、写真付きの身分証明書により本人確認を行う。
8 受講料、テキスト代 その他必要な費用	受講料 0 円 (内訳) ・受講料 0 円 ・テキスト代 0 円
9 研修カリキュラム	生活援助従事者研修：別添様式 3-2 又は 4-2 のとおり
10 通信形式の場合 その実施方法 ・添削指導及び面接指導 の実施方法 ・評価方法及び認定基準 ・自宅学習中の質疑等への 対応方法	
11 研修会場 (名称及び所在地)	横浜市寿町健康福祉交流センター 横浜市中区寿町 4 丁目 1 4 番地 2 階会議室

別紙 1

<p>12 使用テキスト (副教材も含む)</p>	<p>中央法規出版 生活援助従事者研修 (59時間) テキスト</p>
<p>13 研修修了の認定方法 (習得度評価方法含む)</p>	<p>(1) 技術演習における習得度評価 「こころとからだのしくみと生活支援技術」の次の項目について、各演習時間内で技術習得度の評価を行う。チェックリストにより A～D の4区分で評価を行い、A 及び B のものを一定レベルに達しているとする。 ⑥移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 移動支援・見守り ⑦食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 食事介助 ⑧睡眠に関するこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ベッドメイキング (シーツ交換)</p> <p>(評価区分) A: 基本的な介護 (介助) が的確にできる。 B: 基本的な介護 (介助) が概ねできる。 C: 技術が不十分。 D: 全くできない。</p> <p>(2) 全科目の修了時に 0.5 時間の筆記試験による修了評価を実施する。次の評価基準により C 以上を評価基準を満たしたものと認定する。 A=90 点以上、B=80～89 点、C=70～79 点、D=70 点未満</p> <p>(3) 通学のカリキュラムにすべて出席し、上記 (1) 及び (2) において認定基準を超えている受講者に対し、修了証明書を発行する。</p> <p>(修了評価試験で基準以下の時の取り扱い) 担当講師の補修の上、再試験を実施する。 補講 0 円、再試験 0 円</p>
<p>14 欠席者の取り扱い(遅刻・早退の扱い含む) 補講の取り扱い (実施方法及び費用等)</p>	<p>理由の如何にかかわらず、5 分以上の遅刻・早退は欠席とする。研修の一部を欠席したもので、やむを得ない事情があると認められたものについては、補講を行う。 補講の実施は、原則として、当法人において実施する同カリキュラムの予備日に同じ授業を振替受講することにより行う。 補講の費用負担は発生しない。</p>
<p>15 科目免除の取り扱いとその手続き方法</p>	<p>科目免除の取り扱いはない。</p>
<p>16 解約条件及び返金の有無</p>	<p>受講者からのキャンセルは、開校日もしくは開講してから書面により申し出ることによりキャンセルとする。 当法人からのキャンセルは、応募者の受講態度不良等による対校処分の場合キャンセルとする。</p>

別紙 1

17 情報開示の方法
(ホームページアドレス等)

当法人ホームページにより、以下の内容を情報開示する。

<https://kotobukikaigo.com/>

(1) 研修機関情報

法人情報

法人格 特定非営利活動法人
法人名称 特定非営利活動法人ことぶき介護
代表者名 理事長 徳茂万知子
研修担当理事 理事 金子洋子
住所 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 303 号室

研修機関情報

事業所名称 特定非営利活動法人ことぶき介護
住所 横浜市中区松影町 2-7-17
リバーハイツ石川町 303 号室

理念

①介護保険や障害者総合支援サービスの利用者の個性・多様性を尊重し、公的サービスを有効に活用して、地域で幸せに暮らせるお手伝いをいたします。

②日々の仕事を通じて、ここの職員が能力・長所を伸ばし、どこで働いても恥ずかしくないと思えるプロフェッショナルとしてのスキルを身に付けられるようにします。

③地域住民・地域機関・行政などからの要請にはできる限り協力し、外部機関と有機的に連携することで地域社会に密着した質の高いサービスを提供します。

学則

<https://kotobukikaigo.com/> にて情報公表する。

研修施設、設備

<https://kotobukikaigo.com/> にて情報公表する。

(2) 研修事業情報

研修の概要

- 対象
- 研修のスケジュール（期間、日程、時間数）
- 定員（集合研修、実習）と指導者数
- 費用
- 留意事項、特徴、受講者へのメッセージ

課程責任者

- 課程責任者名

研修カリキュラム

- 科目別シラバス
 - 科目別担当教官名
 - 科目別特徴
- 演習の場合は、実技内容・備品・指導体制

別紙 1

	<p>修了評価 ●修了評価の方法、評価者、再履修等の基準</p> <p>実習施設 ●協力実習機関の名称・住所等 ●協力実習機関の介護保険事業の概要 ●協力実習機関の演習担当者名 ●実習プログラム内容、プログラムの特色 ●実習中の指導体制・内容（振り返り、実習指導等） ●協力実習機関における延べ人数</p> <p>(3) 講師情報 ●名前 ●略歴、現職、資格</p> <p>(4) 実績情報 ●過去の研修実施回数（年度ごと） ●過去の研修延べ参加人数（年度ごと）</p> <p>(5) 連絡先等 ●申し込み・資料請求先 ●法人の苦情対応者名・役職・連絡先 ●事業所の苦情対応者名・役職・連絡先</p> <p>(6) 質を向上させる取り組み</p>
<p>18 受講者の個人情報の取り扱い</p>	<p>別添のことぶき介護「個人情報保護方針」にもとづき、受講者の個人情報を取り扱う。なお、修了者名簿は介護保険法施行令第3条第2項第2号イの規定により県に提出する。</p>
<p>19 修了証明書を亡失・き損した場合の取扱い</p>	<p>修了証明書を亡失・棄損した場合、受講者本人の申請により再交付する。 手数料 0円</p>
<p>20 その他研修実施に係る留意事項</p>	<p>以下にあげたものは、退校処分とする場合がある。 学習意欲が著しく欠け、修了の見込みが無いと認められるもの。 研修の秩序を著しく乱し、他の受講生の妨げとなるもの。</p>

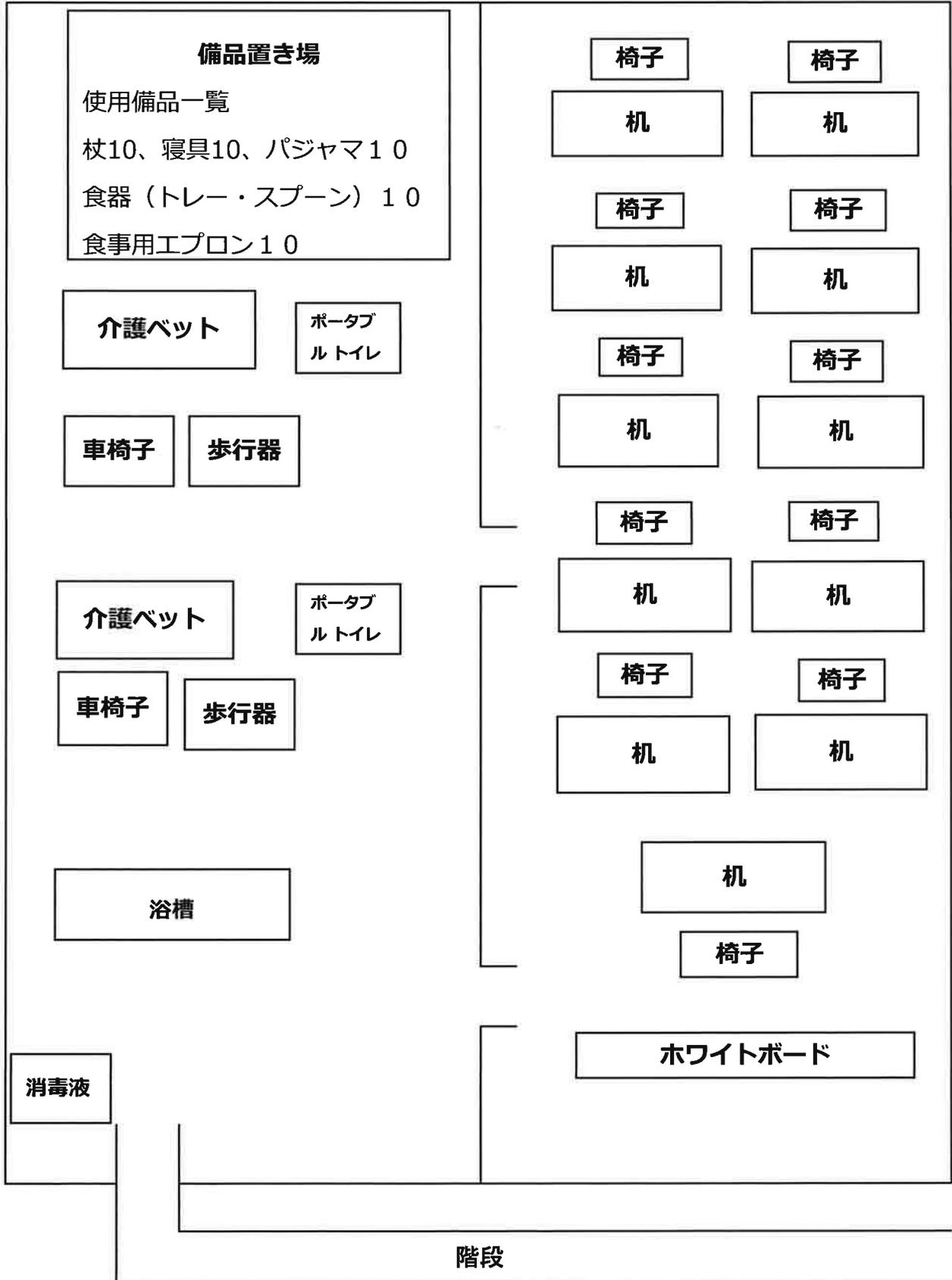
生活援助従事者研修 レイアウト表

横浜市健康福祉交流センター2階

活動交流スペース

会議室1・会議室2

交流スペース・会議室1・2 計約90㎡



研修日程表

事業者名 特定非営利活動法人ことぶき介護

研修事業の名称 ことぶき介護 生活援助従事者研修 (通学)

研修指定番号及び個別番号

研修期間：令和4年10月11日～令和4年12月27日

月日	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	講師	会場
10月11日	9:30~10:00	0.5	オリエンテーション	梅田達也	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	10:00~11:00	1	1 ①多様なサービスの理解	金子洋子	
	11:00~12:00	1	1 ②介護職の仕事内容や働く現場の	金子洋子	
10月14日	10:00~11:00	1	2 ① 人権と尊厳を支える介護 1①	金子洋子	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:00~12:00	1	2 ① 人権と尊厳を支える介護②	金子洋子	
10月17日	10:00~11:00	1	2 ① 人権と尊厳を支える介護③	国枝廣太	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:00~12:00	1	2 ② 自立に向けた介護①	国枝廣太	
10月18日	10:00~11:00	1	2 ② 自立に向けた介護②	菅原隆司	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:00~12:00	1	2 ② 自立に向けた介護③	菅原隆司	
10月21日	10:00~11:00	1	3 ①介護の役割、専門性と多職種との連携について	五味桂子	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:00~12:00	1	3 ②介護職の職業倫理	五味桂子	
10月24日	10:00~11:00	1	3 ③介護における安全の確保とリスクマネジメント	齋藤摂	寿町健康福祉交流協会 1階多目的室
	11:00~12:00	1	3 ④介護職の安全	齋藤摂	
10月25日	10:00~11:00	1	4 ①介護保険制度について	鈴木尚子	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:00~12:00	1	4 ②医療との連携とリハビリテーション	川瀬由美子	
10月28日	10:00~11:00	1	4 ③障害福祉制度及びその他の制度について	梅田達也	寿町健康福祉交流協会 1階多目的室
	11:00~12:00	1	5 ① 介護におけるコミュニケーション①	梅田達也	

*オリエンテーション、修了評価試験も記載する。

研修日程表

事業者名 特定非営利活動法人ことぶき介護

研修事業の名称 ことぶき介護 生活援助従事者研修 (通学)

研修指定番号及び個別番号

研修期間：令和4年10月11日～令和4年12月27日

月日	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	講師	会場
10月31日	10:00～11:30	1.5	6 ③認知症を取り巻く状況	鈴木尚子	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:30～12:00	0.5	6 ④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理①	鈴木尚子	
11月1日	10:00～11:00	1	5 ①介護におけるコミュニケーション②	小林育代	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:00～12:00	1	5 ①介護におけるコミュニケーション③	小林育代	
11月4日	10:00～11:00	1	5 ②介護におけるチームのコミュニケーション①	渡辺昌江	寿町健康福祉交流協会 2階会議室
	11:00～12:00	1	6 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常①	大塚明子	
11月7日	10:00～10:30	0.5	6 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常	大塚明子	寿町健康福祉交流協会 1階多目的室
	10:30～12:00	1.5	6 ②高齢者と健康	大塚明子	
11月8日	10:00～11:00	1	5 ②介護におけるチームのコミュニケーション②	渡辺昌江	寿町健康福祉交流協会 1階多目的室
	11:00～12:00	1	5 ②介護におけるコミュニケーション③	小林育代	
11月11日	10:00～11:00	1	8 ①介護の基本的考え方	金子洋子	寿町健康福祉交流協会 1階多目的室
	11:00～12:00	1	8 ②介護に関するこころのしくみの基礎的理解	国枝廣太	
11月14日	10:00～11:00	1	6 ④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理②	鈴木尚子	寿町健康福祉交流協会 1階多目的室
	11:00～12:00	1	6 ⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活①	鈴木尚子	

*オリエンテーション、修了評価試験も記載する。

研修日程表

事業者名 特定非営利活動法人ことぶき介護
 研修事業の名称 ことぶき介護 生活援助従事者研修（通学）
 研修指定番号及び個別番号

研修期間：令和4年10月11日～令和4年12月27日

月日	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	講師	会場
11月15日	10:00～11:00	1	8 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	国枝廣太	寿町健康福祉交流 協会 2 階会議室
	11:00～12:00	1	8 ④ 生活と家事①	小林育代	
11月18日	10:00～10:30	0.5	6 ⑤ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活②	鈴木尚子	寿町健康福祉交流 協会 2 階会議室
	10:30～11:30	1	8 ④ 生活と家事②	小林育代	
11月21日	10:00～11:30	1.5	6 ⑥ 家族への支援	鈴木尚子	寿町健康福祉交流 協会 2 階会議室
	11:30～12:30	1	7 ① 障害の基礎的理解	鈴木尚子	
11月22日	10:00～11:00	1	8 ⑥ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護②	齋藤摂	寿町健康福祉交流 協会 2 階会議室
	11:00～12:00	1	8 ⑥ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護③	菅原隆司	
11月25日	10:00～11:00	1	8 ④ 生活と家事③	田中淳子	寿町健康福祉交流 協会 2 階会議室
	11:00～12:00	1	8 ④ 生活と家事④	田中淳子	
11月28日	10:00～11:00	1	8 ④ 生活と家事⑤	五味桂子	寿町健康福祉交流 協会 2 階会議室
	11:00～12:00	1	8 ⑤ 快適な住環境整備と介護①	川瀬由美子	
11月29日	10:00～11:00	1	8 ⑤ 快適な住環境整備と介護②	川瀬由美子	寿町健康福祉交流 協会 2 階会議室
	11:00～12:00	1	8 ⑥ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護①	川瀬由美子	

*オリエンテーション、修了評価試験も記載する。

研修日程表

事業者名 特定非営利活動法人ことぶき介護

研修事業の名称 ことぶき介護 生活援助従事者研修（通学）

研修指定番号及び個別番号

研修期間：令和4年10月11日～令和4年12月27日

月日	時間	時間数	科目番号/項目番号/項目名	講師	会場
12月2日	10:00～11:00	1	8 ⑦ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護①	渡辺昌江	寿町健康福祉交流 協会2階会議室
	11:00～12:00	1	8 ⑦ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護②	渡辺昌江	
12月5日	10:00～11:00	1	7 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	五味桂子	寿町健康福祉交流 協会2階会議室
	11:00～12:00	1	7 ③家族の心理、かかわり支援の理解	五味桂子	
12月6日	10:00～11:30	1.5	8 ⑧ 睡眠に関するところとからだのしくみと自立に向けた介護	渡辺昌江	寿町健康福祉交流 協会2階会議室
	11:30～12:00	0.5	8 ⑨ 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護①	渡辺昌江	
12月9日	10:00～11:00	1	8 ⑨ 死にゆく人に関するところとからだのしくみと終末期介護②	小林育代	寿町健康福祉交流 協会2階会議室
	11:00～12:00	1	8 ⑩ 介護過程の基礎的理解 ①	小林育代	
12月12日	10:00～11:00	1	8 ⑩ 介護過程の基礎的理解 ②	国枝廣太	寿町健康福祉交流 協会2階会議室
	11:00～12:00	1	8 ⑩ 介護過程の基礎的理解 ③	国枝廣太	

*オリエンテーション、修了評価試験も記載する。

生活援助従事者研修カリキュラム

事業者名 特定非営利活動法人ことぶき介護

研修事業の名称 ことぶき介護 生活援助従事者研修（通学）

1 職務の理解（ 2時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①多様なサービスの理解	1時間	講義内容 ・介護保険サービス（居宅）と介護保険外サービスにはどのような違いがあるのかを理解する。 演習内容 ・「介護に対するイメージ」を話し合う
②介護職の仕事内容や働く現場の理解	1時間	講義内容 ・居宅の多様な働く現場におけるそれぞれの仕事内容を理解する。 ・講師の体験談や視覚教材「現場紹介」を活用し、居宅の実際のサービス提供現場の具体的なイメージを持つ。 ・生活援助中心型の訪問介護で行う業務範囲（歩行等が不安定な者の移動支援・見守りを含む）を具体的に示し理解をする。
合計	2時間	
2 介護における尊厳の保持・自立支援（ 6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 人権と尊厳を支える介護	3時間	講義内容 ・次の項目について事例を示しその概念に対する気づきを促す。 人権と尊厳の保持、ICF、QOL、ノーマライゼーション、虐待防止・身体拘束禁止、個人の権利を守る制度の概要 演習内容 ・利用者の尊厳を傷つける言動を考えその理由を話し合う
② 自立に向けた介護	3時間	講義内容 ・自立支援・介護予防の考え方について、次の項目について具体的な事例を示しながら概念に対する気づきを促す。 自立・自律支援、残存能力の活用、動機と欲求、意欲を高める支援、個別性／個別ケア、重度化防止、介護予防の考え方
合計	6時間	

別紙4 研修カリキュラム

3 介護の基本（4時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護の役割、専門性と多職種との連携について	1時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域包括ケアを具体的に示し、介護環境の特徴を理解する。 ・介護の専門性について次の項目について事例を示し、理解を促す。 重度化防止・遅延化の視点、利用者主体の支援姿勢、自立した生活を支えるための援助、根拠のある介護、チームケアの重要性、事業所内のチーム ・介護に関わる職種とその役割を知る。 <p>異なる専門性を持つ多職種の理解、介護支援専門員、サービス提供責任者</p>
②介護職の職業倫理	1時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の職業倫理について、次の項目を具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>専門職の倫理の意義、介護の倫理（介護福祉士の倫理と介護福祉士制度等）、介護職としての社会的責任、プライバシーの保護・尊重</p>
③介護における安全の確保とリスクマネジメント	1時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護における安全確保について、次の項目を具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>事故に結びつく要因を探り対応していく技術、リスクとハザード、身体介助の技術を持たない人が介助するリスク</p> <ul style="list-style-type: none"> ・事故予防、安全対策について、緊急対応の重要性を理解できるように、次の項目を具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>リスクマネジメント、分析の手法と視点、事故に至った経緯の報告（家族への報告、市町村への報告等）、情報の共有</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染対策について、具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>感染の原因と経路（感染源の排除、感染経路の遮断）、「感染」に対する正しい知識</p>
④介護職の安全	1時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職の心身の健康管理について、次の項目を具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>介護職の健康管理が介護の質に影響、ストレスマネジメント、手洗い・うがいの励行、手洗いの基本、感染症対策</p> <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・正しい手洗いの方法
合計	4時間	

別紙4 研修カリキュラム

4 介護・福祉サービスの理解と医療との連携（ 3 時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①介護保険制度について	1 時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護保険制度創設の背景及び目的、動向（現状）を理解する。（予防重視型システムへの転換、地域包括支援センターの設置、地域包括ケアシステムの推進、ケアマネジメント） ・ 介護保険制度の仕組みについての基本的な理解をする。 ・ 制度を支える財源、組織・団体の機能と役割を理解する。 <p>演習内容</p> <p>「介護保険制度について」振り返りを行う。</p>
②医療との連携とリハビリテーション	1 時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問看護（利用者にとっての介護と医療の連携を理解する。） ・ 介護保険制度で提供されるリハビリテーションサービスについて
③障害福祉制度及びその他の制度について	1 時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 障害福祉制度の理解（障害の概念、ICF（国際生活機能分類） ・ 障害福祉制度の仕組みの基礎的理解（介護給付・訓練等給付の申請から支給決定まで） ・ 個人の権利を守る制度の概要について（個人情報保護法、成年後見制度、日常生活自立支援事業）
合計	3 時間	

別紙4 研修カリキュラム

5 介護におけるコミュニケーション技術（6時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 介護におけるコミュニケーション	3時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護におけるコミュニケーションの意義、目的、役割について、次の項目を具体的な事例を示しながら気づきを促す。 <p>相手のコミュニケーション能力に対する理解や配慮、傾聴、共感の応答</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コミュニケーションの技法、道具を用いた言語的コミュニケーションについて、次の項目を具体的な事例を示しながら気づきを促す。 <p>言語的コミュニケーションの特徴、非言語的コミュニケーションの特徴</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者・家族とのコミュニケーションの実際について、次の項目を具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>利用者の思いを把握する、意欲の低下の要因を考える、利用者の感情に共感する、家族の心理的理解、家族へのいたわりと励まし、信頼関係の形成、自分の価値観で家族の意向を判断し非難することがないようにする、アセスメントの手法とニーズとデマンドの違い</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者の状況・状態に応じたコミュニケーション技術の実際について、次の項目を具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>視力、聴力の障害に応じたコミュニケーション技術、失語症に応じたコミュニケーション技術、構音障害に応じたコミュニケーション技術、認知症に応じたコミュニケーション技術</p> <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・利用者や家族とのコミュニケーションの必要性について振り返る。
② 介護におけるチームのコミュニケーション	3時間	<ul style="list-style-type: none"> ・記録における情報の共有化について、次の項目を具体的な事例を示しながら気づきを促す。 <p>介護における記録の意義・目的、利用者の状態を踏まえた観察と記録、介護に関する記録の種類、個別援助計画書（訪問・通所・入所、福祉用具貸与等）、ヒヤリハット報告書、5W1H</p> <ul style="list-style-type: none"> ・報告について、報告の留意点や情報共有の場や相談の留意点を具体的な事例を示しながら理解を促す。 ・コミュニケーションを促す環境について、次の項目を具体的な事例を示しながら理解を促す。 <p>会議、情報共有の場、役割の認識の場（利用者と頻回に接触する介護者に求められる観察眼）、ケアカンファレンスの重要性</p> <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・記録の必要性、情報共有化の要性について振り返る。
合計		
6 老化と認知症の理解（9時間）		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法

別紙4 研修カリキュラム

①老化に伴うこころとからだの変化と日常	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老年期の発達と老化に伴う心身の変化の特徴をつかむ。(防衛反応・反射の変化、喪失体験について理解する。) ・ 老化に伴う心身の機能の変化と日常生活への影響について理解する。 <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老化(高齢者)による「こころ」と「からだ」の変化、日常生活の変化について話し合う。
②高齢者と健康	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢者の疾病と生活上の留意点(骨折、筋力の低下と動き・姿勢の変化・関節痛) ・ 高齢者に多い病気とその日常生活上の留意点について
③認知症を取り巻く状況	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症を取り巻く状況を知る。認知症に対する基礎知識を学ぶ。 ・ 認知症ケアの理念(パーソナルセンタードケア、認知症ケアの視点)
④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の概念、認知症の原因疾患とその病態、原因疾患別ケアのポイント、健康管理(定義、物忘れとの違い、せん妄の症状、健康管理、治療、薬物治療、認知症に使用される薬)
⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の人の生活障害、心理・行動の特徴を理解する。 ・ 認知症の利用者への対応(認知症の人のかかわり方のポイントを学ぶ)
⑥家族への支援	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 認知症の受容過程での援助について理解する。 ・ 家族への支援をする上での大切な視点などを理解する。 ・ 介護負担の軽減(レスパイトケアや社会資源、負担軽減のための支援方法について理解する。)
合計	9時間	

別紙4 研修カリキュラム

7 障害の理解(3時間)		
項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
①障害の基礎的理解	1時間	<p>講義内容</p> <p>障害の概念とICF</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICFの分類と医学的分類、ICFの考え方を理解する。 ・介護とICF <p>障害福祉の基本理念</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ノーマライゼーションの概念について理解する。
②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴、かかわり支援等の基礎的知識	1時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身体障害（視覚障害、聴覚障害、音声・言語障害、肢体不自由、内部障害）、知的障害、精神障害、高次脳機能障害、発達障害について理解する。 ・その他の心身機能障害について
③家族の心理、かかわり支援の理解	1時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障害の理解、障害の受容支援について理解する。 ・家族への支援をする上での大切な視点などを理解する。 ・介護負担の軽減（負担軽減のための支援方法について理解する。） <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・介護職員として、なぜ、家族へも支援が必要かについて振り返る。
合計	3時間	

別紙4 研修カリキュラム

8 ころとからだのしくみと生活支援技術 (24 時間)			
	項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
基本知識の学習	① 介護の基本的考え方	1 時間	講義内容 ・理論に基づく介護（ICFの視点に基づく生活支援、我流介護の排除）、法的根拠に基づく介護について、具体的な事例を示しながら理解を促す。
	② 介護に関するころのしくみの基礎的理解	1 時間	講義内容 ・感情と意欲の基礎知識、自己概念と生きがい、老化や障害を受け入れる適応行動とその阻害要因を通して介護実践に必要なころのしくみを理解する。
	③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解	1 時間	講義内容 ・具体的な身体機能の概要を理解できるように次の項目に関する基礎知識を示し理解を促す。 人体の各部の名称と働きに関する基礎知識、骨・関節・筋に関する基礎知識、ボディメカニクスの活用、中枢神経系と体性神経に関する基礎知識、自律神経と内部器官に関する基礎知識、ころとからだを一体的に捉える、利用者の様子との違いに気づく視点
生活支援技術の講義・演習	④ 生活と家事	5 時間	講義内容 ・家事と生活の理解、家事援助に関する基礎知識と生活支援について、次の項目について具体的な事例を示し理解を促す。 生活歴、自立支援、予防的な対応、主体性・能動性を引き出す、多様な生活習慣、価値観 演習内容 ・掃除を行う際の手順を考え行う。
	⑤ 快適な住環境整備と介護	2 時間	講義内容 ・快適な住環境に関する基礎知識、高齢者・障害者特有の居住環境整備と福祉用具に関する留意点と支援方法について、具体的な家庭内に多い事故の事例などを通して理解を促す。 演習内容 ・家庭内に多い事故の事例などについて振り返り理解を更に深める。
	⑥ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護	3 時間	講義内容 ・移動・移乗に関する基礎知識、さまざまな移動・移乗に関する用具とその活用方法、利用者、介護者にとって負担の少ない移動・移乗を阻害するころとからだの要因の理解、移動と社会参加の留意点と支援について理解を促す。 演習内容 ・次の項目について演習を通して立ち上がりや移動の実際の声かけ、歩行等が不安定な者の移動支援・見守りを行うことができる。 利用者の自然な動きの活用、残存能力の活用・自立支援、重心・重力の動きの理解、ボディメカニクスの基本原理、歩行等が不安定な者の移動支援・見守り（車いす・歩行器・つえ等）

別紙4 研修カリキュラム

	⑦ 食事に関連したところとからだのしくみと自立に向けた介護	2時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事に関する基礎知識、食事環境の整備・食事に関連した用具・食器の活用方法と食事形態とからだのしくみ、楽しい食事を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法、食事と社会参加の留意点と支援について次の項目について理解する。 ・ 食事をする意味、食事のケアに対する介護者の意識、低栄養の弊害、脱水の弊害、食事と姿勢、咀嚼・嚥下のメカニズム、空腹感、満腹感、好み、食事の環境整備（時間・場所等）、食事に関した福祉用具の活用と介助方法、口腔ケアの定義、誤嚥性肺炎の予防 <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 食事の介助を行う際の留意点を手順に沿って行う。
	⑧ 睡眠に関したところとからだのしくみと自立に向けた介護	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 睡眠に関する基礎知識、さまざまな睡眠環境と用具の活用方法、快い睡眠を阻害するところとからだの要因の理解と支援方法について、次の項目について具体的な事例を示し理解を促す。 ・ 安眠のための介護の工夫、環境の整備（温度や湿度、光、音、良く眠るための寝室）、安楽な姿勢・褥瘡予防 <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ベッドメイキング（シーツ交換）を行うことを通して褥瘡の予防と腰痛予防の視点を理解する。
	⑨ 死にゆく人に関したところとからだのしくみと終末期介護	1.5時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 終末期に関する基礎知識とところとからだのしくみ、生から死への過程、「死」に向き合うところの理解、苦痛の少ない死への支援について次の項目について理解を促す。 ・ 終末期ケアとは、高齢者の死に至る過程（高齢者の自然死（老衰）、癌死）、臨終が近づいたときの兆候 <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護職としての終末期のかかわり方を個々でイメージを持つ。
生活支援技術演習	⑩ 介護過程の基礎的理解	4時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ サービスの提供例の紹介を活用し、利用者にとっての生活の充足を提供しかつ不満足を感じさせない技術が必要となることについて次の項目の理解を促す。 ・ 介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチ <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 介護過程の目的・意義・展開、介護過程とチームアプローチの必要性について振り返る。
実習	⑪ 訪問介護事業所において、移動・移乗についての理解、体験を行う。	2時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 在宅支援である訪問介護を通じて移動・移乗の方法や注意点について学ぶ。 <p>実習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 実際に移動や移乗、訪問介護の現場に同行し、見学・体験を行う。
	合計	24時間	
9 振り返り（2時間）			

別紙4 研修カリキュラム

項目名	時間数	講義内容及び演習の実施方法
① 振り返り	1 時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 研修を通して学んだこと、今後継続して学ぶべきこと、根拠に基づく介護についての要点（利用者の状態像に応じた介護と介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解するための知識の重要性、チームアプローチの重要性等）を振り返り、再認識を図る。 <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用者の状態像に応じた介護ができるように、介護過程、身体・心理・社会面を総合的に理解できるように振り返る。
② 就労への備えと研修修了後における継続的な研修	1時間	<p>講義内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的に学ぶべきこと、研修修了後における継続的な研修について、具体的にイメージできるような事業所等における実例（OFF-JT、OJT）を紹介する。 <p>演習内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 継続的に学ぶため、事業所における研修の実例（OFF-JT、OJT）を理解できるようになる。
合計		
全カリキュラム合計時間	59 時間	

※規定時間数以上のカリキュラムを組んでもかまわない。

※本研修で独自に追加した科目には、科目名の前に「追加」と表示すること。

別紙5 科目別担当教官名

別添様式 17

講師一覧

事業者名 特定非営利活動法人ことぶき介護

研修事業の名称 生活援助従事者研修

2022年10月1日現在

科目番号／科目名 項目番号／項目名	講師名 * 演習の補助講師は (補助講師) と記載	資格等
1 職務の理解 ①多様なサービスの理解 ②介護職の仕事内容や働く現場の理解	①梅田 達也 金子 洋子 國枝 廣太 菅原 隆司 五味 桂子 齋藤 撰 小林 育代 呂 艶静 渡辺 昌江 柳田 公嗣	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士
	②梅田 達也 金子 洋子 國枝 廣太 菅原 隆司 五味 桂子 齋藤 撰 小林 育代 呂 艶静 渡辺 昌江 柳田 公嗣	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士
2 介護における尊厳の保持と自立支援 ①人権と尊厳を支える介護 ②自立に向けた介護	①梅田 達也 金子 洋子 國枝 廣太 菅原 隆司 五味 桂子 齋藤 撰 小林 育代 呂 艶静 渡辺 昌江 柳田 公嗣	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士

別紙5 科目別担当教官名

	④梅田 達也 金子 洋子 國枝 廣太 菅原 隆司 五味 桂子 齋藤 撰 小林 育代 呂 艶静 渡辺 昌江 柳田 公嗣	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士
4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ①介護保険制度について ②医療との連携とリハビリテーション ③障害福祉制度及びその他の制度について	①梅田 達也 鈴木 尚子	介護支援専門員 社会福祉士
	②川瀬 由美子 小西 祐子 梅田 達也	作業療法士 保健師 介護支援専門員
	③梅田達也	介護支援専門員
5 介護におけるコミュニケーション技術 ①介護におけるコミュニケーション ②介護におけるチームでのコミュニケーション	①梅田 達也 金子 洋子 國枝 廣太 菅原 隆司 五味 桂子 齋藤 撰 小林 育代 呂 艶静 渡辺 昌江 柳田 公嗣	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士
	②梅田 達也 金子 洋子 國枝 廣太 菅原 隆司 五味 桂子 齋藤 撰 小林 育代 呂 艶静 渡辺 昌江 柳田 公嗣	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士

別紙5 科目別担当教官名

	②梅田 達也 金子 洋子 國枝 廣太 菅原 隆司 五味 桂子 齋藤 撰 小林 育代 呂 艶静 渡辺 昌江 柳田 公嗣	介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士 介護福祉士

- *項目ごとに担当講師を記載すること。項目を分割した場合は分けて記載すること。
- *病気等による急な講師変更への対応も考慮し、担当することが想定される講師すべてを記載すること。
- *講師履歴で届出た担当科目項目と講師一覧に記載する科目項目を一致させること。
- *演習の補助講師についても記載すること。その場合は氏名に（補助講師）と書き添えること。
- *補助講師については、補助講師としてのみ届出た講師を記載すること。
- *本講師を行う項目について、補助講師として担当する可能性がある場合は補助講師の記載は不要。

見学・実習施設一覧

事業者名特定非営利活動法人ことぶき介護

研修事業の名称 ことぶき介護生活援助従事者研修 (通学)

(見学)

整理番号	運営主体 (法人名)	施設名・事業所名	サービス 種別	事業所番号	所在地
1	特定非営利活動法人 ことぶき介護	特定非営利活動法人こと ぶき介護	訪問介護	1470400753	横浜市中区松影町 2- 7-17 リバーハイツ石 川町 303 号室
2					

(施設・居宅型実習)

実習内容 (計画)					
整理番号	運営主体 (法人名)	施設名・事業所名	サービス 種別	事業所番号	所在地
1					
2					

(通所事業所実習)

実習内容 (計画)					
整理番号	運営主体 (法人名)	施設名・事業所名	サービス 種別	事業所番号	所在地
1					
2					

(訪問介護実習)

実習内容 (計画)					
整理番号	運営主体 (法人名)	施設名・事業所名	サービス 種別	事業所番号	所在地
1	特定非営利活動法人 ことぶき介護	特定非営利活動法人こと ぶき介護	訪問介護	1470400753	横浜市中区松影町 2-7- 17 リバーハイツ石川町 303 号室
2					

* 「施設名・事業所名」は当該サービス種別について介護保険法等関係法令によるサービス事業者の指定を受けている名称で記載し、それに係る事業所番号を記載する。

* 見学以外については、実習先で予定している実習内容を「実習内容 (計画)」欄に記載する。単なる見学ではなく、利用者として現場の業務を体感できる内容とすること。

* 必要に応じて欄を加除して作成してかまわない。

実 習 実 施 計 画 書

事業者名 特定非営利活動法人ことぶき介護

修事業の名称 ことぶき介護 生活援助従事者研修（通学）

研修指定番号及び個別番号

（実施方法）

次の中から実施する。
③訪問介護実習 実習 2 時間

1. 施設・居住型実習

実施期間	〇〇年〇月〇〇日～ 〇〇年〇月〇〇日			
時間数	時間× 日＝ 時間			
内容				
サービス種別	整理番号	実習施設名	実習指導者名	実習者人数
				名 (1日 名)
				名 (1日 名)
				合計 名

2. 通所事業所実習

実施期間	年 月 日～ 年 月 日			
時間数	時間× 日＝ 時間			
内容				
サービス種別	整理番号	実習施設名	実習指導者名	実習者人数
				名 (1日 名)
				名 (1日 名)
				合計 名

3. 訪問介護実習

実施期間	令和4年12月15日～12月20日			
時間数	2時間×1日＝2時間			
内容	訪問介護の現場に同行し、移乗・移動介助の見学と参加をする。			
サービス種別	整理番号	実習施設名	実習指導者名	実習者人数
訪問介護	1	特定非営利活動法人 ことぶき介護	金子 洋子	10 名 (1日 2 名)
				名 (1日 名)
				合計 名

* 整理番号欄は、実習施設一覧の整理番号を記載する。

* 必要に応じて欄を加除して作成してかまわない。

* 「職務の理解」「振り返り」の「見学」は日程表の会場欄に見学先を記載すればよい。

講 師 履 歴

2021年8月1日現在

別紙 7

<p>担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)</p>	<p>1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解</p> <p>2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護</p> <p>3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全</p> <p>4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ① 介護保険制度 ② 医療との連携とリハビリ テーション ③ 障害福祉制度及びその他制度</p> <p>5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション</p> <p>6 老化と認知症の理解 ① 老化に伴うこころとからだの変化と日常 ② 高齢者の健康 ③ 認知症の取り巻く状況 ④ 医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ⑤ 認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ⑥ 家族への支援</p> <p>7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等 の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解</p> <p>8 こころとからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関するこころのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた 介護 ⑦ 食事に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連したこころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関したこころとからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解</p> <p>9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修</p>	<p>専任・兼任 (該当に○)</p>
---	--	-------------------------

別紙 7

ふりがな 氏 名	梅田 達也		生年月日	1970年5月1日	
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護			
	職及び 業務内容	訪問介護・居宅介護支援管理者兼研修担当 (2021年1月～)			
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間		
	社会福祉法人 横浜市 福祉サービス協会 金沢事務所	サービス提供責任者 (訪問介護)	1996年9月～ 2003年7月		
	特定非営利活動法人 ことぶき介護 (訪問介護・居宅介護 支援)	介護支援専門員兼任訪問介護員 (居宅介護支援・ 訪問介護管理者)	2003年11月1日～ 現在		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	介護福祉士		2002年	2月	8日
	介護支援専門員		2003年	3月	27日
その 他 参考事項					

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021 年 8 月 1 日現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 心とからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関した心とからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・兼任 (該当に○)	
ふりがな 氏 名	金子 洋子		生年月日 1949 年 10 月 17 日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護	
	職及び 業務内容	訪問介護サービス提供責任者 (2003 年 11 月～)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務 (科目) 内容	期 間
	社会福祉法人 横浜市 福祉サービス協会 (訪問介護)	訪問介護員	1997 年 5 月～ 2003 年 9 月

別紙7

	特定非営利活動法人 ことぶき介護	主任サービス提供責任者	2003年11月～現在		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
				年 月～ 年 月	
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	介護福祉士		2003年	4月	18日
その他 参考事項					

- * 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。
- * 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021年8月1日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 心とからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関連した心とからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・兼任 (該当に○)					
ふりがな 氏 名	國枝 廣太	1984年8月17日 生年月日					
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属 特定非営利活動法人ことぶき介護 職及び 業務内容 訪問介護サービス提供責任者 j (2014年5月～)						
担当科目に関 係のある経歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="391 2004 694 2060">勤務先名称 (サービス種別)</th> <th data-bbox="702 2004 1141 2060">担当業務(科目)内容</th> <th data-bbox="1149 2004 1460 2060">期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="391 2072 694 2128">特定非営利活動法人ことぶき介護</td> <td data-bbox="702 2072 1141 2128">訪問介護員</td> <td data-bbox="1149 2072 1460 2128">2010年5月～ 2014年4月</td> </tr> </tbody> </table>	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間	特定非営利活動法人ことぶき介護	訪問介護員	2010年5月～ 2014年4月
勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間					
特定非営利活動法人ことぶき介護	訪問介護員	2010年5月～ 2014年4月					

別紙7

	特定非営利活動法人こ とぶき介護	訪問介護サービス提供責任者	2014年5月～ 現在
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日
	介護福祉士		2014年 8月 29日
その他 参考事項			

- * 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。
- * 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021 年 8 月 1 日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 心とからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関連した心とからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・兼任 (該当に○)	
ふりがな 氏 名	小林 育代		生年月日 1956 年 6 月 25 日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属 職及び 業務内容	特定非営利活動法人ことぶき介護 訪問介護サービス提供責任者 (年 月～)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別) 特定非営利活動法人こ とぶき介護訪問介護	担当業務(科目)内容 訪問介護員	期 間 2012 年 7 月～ 2016 年 3 月

別紙7

	特定非営利活動法人こ とぶき介護訪問介護	訪問介護サービス提供責任者	2016年4月～ 現在		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
				年 月～ 年 月	
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	介護福祉士		2016年	4年	6日
その他 参考事項					

- * 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。
- * 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021年8月1日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 心とからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関連した心とからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修			専任・兼任 (該当に○)
ふりがな 氏 名	五味 桂子		生年月日 1963年8月11日	
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属 職及び 業務内容	特定非営利活動法人ことぶき介護 訪問介護サービス提供責任者 (2005年4月～)		
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別) 社会福祉法人横浜市福 祉サービス協会金沢事 務所 (訪問介護)	担当業務 (科目) 内容 訪問介護員	期 間 1998年2月～ 2004年3月	

別紙 7

	社会福祉法人介護老人 保健施設翔裕園（老人 保健施設）	介護職員	2004年3月～ 2004年12月		
	特定非営利活動法人こ とぶき介護	訪問介護サービス提供責任者	2005年1月～現在		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	介護福祉士		2003年	4年	11日
その他 参考事項					

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021年8月1日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 心とからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関する心とからだのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連した心とからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関連した心とからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・兼任 (該当に○)	
ふりがな 氏 名	齊藤 摂		生年月日 1975年3月17日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護	
	職及び 業務内容	訪問介護 サービス提供責任者 (2018年5月)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別) 社会福祉法人秀峰会特 別養護老人ホーム さくら苑	担当業務(科目) 内容 介護員	期 間 2010年4月～2012 年3月

別紙7

	医療法人社団平平会 ふあいと寿	訪問介護サービス提供責任者	2016年4月～ 2018年4月		
	特定非営利活動法人こ とぶき介護	訪問介護サービス提供責任者	2018年5月～ 現在		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	介護福祉士		2012年	4月	9日
その他 参考事項					

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021 年 8 月 1 日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 ころとからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関するころのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・兼任 (該当に○)	
ふりがな 氏 名	菅原 隆司		生年月日 1984 年 4 月 2 日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護	
	職及び 業務内容	訪問介護サービス提供責任者 (2013 年 4 月～)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別) 特定非営利活動法人 ことぶき介護	担当業務(科目)内容 訪問介護員	期 間 2009 年 11 月～ 2013 年 3 月

別紙 7

	特定非営利活動法人 ことぶき介護	訪問介護 サービス提供責任者	2013年4月～現在		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	介護福祉士		2013年	4月	26日
その他 参考事項					

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021年8月1日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 ころとからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関するころのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・兼任 (該当に○)	
ふりがな 氏 名	柳田 公嗣	生年月日 1973年5月14日	
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護	
	職及び 業務内容	訪問介護サービス提供責任者 (年 月～)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間

別紙7

	社会福祉法人横浜市福祉サービス協会関内第二事務所 (訪問介護)	訪問介護員	2007年1月～ 2014年3月
	合同会社フラットなかサービス (訪問介護)	訪問介護サービス提供責任者	2014年4月～ 2015年3月
	特定非営利活動法人ことぶき介護 (訪問介護)	訪問介護員	2015年4月～ 2016年6月
	合同会社 with leaf よつばの介護 (訪問介護)	訪問介護員	2016年7月～ 2019年4月
	特定非営利活動法人ことぶき介護 (訪問介護)	訪問介護 サービス提供責任者	2019年5月～ 現在
			年 月～ 年 月
		年 月～ 年 月	
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日
	介護福祉士		1995年 3月 16日
その他 参考事項			

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

別紙 7

別添様式 18

講 師 履 歴

2021年8月1日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 ころとからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関するころのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・兼任 (該当に○)					
ふりがな 氏 名	呂 艶 静	1979年4月19日 生年月日					
現在の所属 ・職及び 業務内容	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="375 1765 555 1832">所 属</td> <td data-bbox="555 1765 1463 1832">特定非営利活動法人ことぶき介護訪問介護</td> </tr> <tr> <td data-bbox="375 1832 555 1904">職及び 業務内容</td> <td data-bbox="555 1832 1463 1904">訪問介護サービス提供責任者 (2013年4月～)</td> </tr> </table>	所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護訪問介護	職及び 業務内容	訪問介護サービス提供責任者 (2013年4月～)		
所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護訪問介護						
職及び 業務内容	訪問介護サービス提供責任者 (2013年4月～)						
担当科目に関 係のある経歴	<table border="1"> <thead> <tr> <th data-bbox="375 1904 699 1977">勤務先名称 (サービス種別)</th> <th data-bbox="699 1904 1134 1977">担当業務(科目)内容</th> <th data-bbox="1134 1904 1463 1977">期 間</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="375 1977 699 2083">特定非営利活動法人 ことぶき介護 (訪問介護)</td> <td data-bbox="699 1977 1134 2083">訪問介護員</td> <td data-bbox="1134 1977 1463 2083">2010年5月～ 2013年3月</td> </tr> </tbody> </table>	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間	特定非営利活動法人 ことぶき介護 (訪問介護)	訪問介護員	2010年5月～ 2013年3月
勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間					
特定非営利活動法人 ことぶき介護 (訪問介護)	訪問介護員	2010年5月～ 2013年3月					

別紙7

	特定非営利活動法人 ことぶき介護 (訪問介護)	訪問介護サービス提供責任者	2013年4月～ 現在		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
				年 月～ 年 月	
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	介護福祉士		2013年	4月	19日
その他 参考事項					

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021 年 8 月 1 日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	1 職務の理解 ① 多様なサービスの理解 ② 介護職の仕事内容や働く現場理解 2 介護における尊厳の保持・自立支援 ① 人権と尊厳を支える介護 ② 自立に向けた介護 3 介護の基本 ① 介護職の役割、専門性と多職種との連携 ② 介護職の職業倫理 ③ 介護における安全の確保とリスクマネジメント ④ 介護職の安全 5 介護におけるコミュニケーション技術 ① 介護におけるコミュニケーション ② 介護におけるチームのコミュニケーション 7 障害の理解 ① 障害の基礎的理解 ② 障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等の基礎的知識 ③ 家族の心理、かかわり支援の理解 8 ころとからだのしくみと生活支援技術 ① 介護の基本的な考え方 ② 介護に関するころのしくみの基礎的理解 ③ 介護に関するからだのしくみの基礎的理解 ④ 生活と家事 ⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑦ 食事に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑧ 睡眠に関連したころとからだのしくみと自立に向けた介護 ⑨ 死にゆく人に関したころとからだのしくみと終末期介護 ⑩ 介護過程の基礎的な理解 9 振り返り ① 振り返り ② 就業への備えと研修修了後における継続的な研修	専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 (該当に○)	
ふりがな 氏 名	渡辺 昌江		生年月日 1959 年 3 月 19 日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	特定非営利活動法人ことぶき介護訪問介護	
	職及び 業務内容	訪問介護サービス提供責任者 (2019 年 5 月～)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間

別紙 7

	社会福祉法人横浜市福祉サービス協会 (訪問介護)	訪問介護員	2004年10月～ 2009年9月
	株式会社エコーケアサービス (訪問介護)	訪問介護員	2009年10月～ 2014年3月
	合同会社フラットなかサービス (訪問介護)	訪問介護サービス提供責任者	2014年4月～ 2019年4月
	特定非営利活動法人ことぶき介護 (訪問介護)	訪問介護サービス提供責任者	2019年5月～ 現在
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日
	介護福祉士		2013年 4月 10日
その他 参考事項			

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2021年1月27日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ②医療との連携とリハビリテーション 6 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 6 ②高齢者と健康 6 ③認知症を取り巻く状況 6 ④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 6 ⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 6 ⑥家族への支援			専任・兼任 (該当に○)
ふりがな 氏 名	こにし ゆうこ 小西 祐子	生年月日	1957年11月4日	
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会		
	職及び 業務内容	健康コーディネート室長 健康づくり・介護予防の推進、個別支援 (2018年4月～現在)		
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間	
	横浜市役所入庁 衛生局中保健所	地域保健業務	昭和58年4月～ 平成5年3月	
	同 戸塚保健所	同上	平成5年4月～ 平成7年3月	
	港北区役所 福祉保健サービス課	福祉保健サービスの運用	平成7年4月～ 平成10年3月	
	衛生局 総合保健医療 センター	福祉保健相談業務	平成10年4月～ 平成11年3月	
	戸塚区役所 福祉保健サービス課	福祉保健サービスの運用	平成12年4月～ 平成15年3月	
	栄区福祉保健センター サービス課	同上	平成15年4月～ 平成18年3月	
	戸塚区福祉保健センタ ーサービス課 ⇒福祉保健課	同上	平成18年4月～ 平成22年3月	
	栄区福祉保健センター 福祉保健課	同上	平成22年4月～ 平成25年3月	
	泉区福祉保健センター 子ども家庭支援課	同上	平成25年4月～ 平成28年3月	
	都筑区福祉保健センタ ー 福祉保健課	同上	平成28年4月～ 平成31年3月	
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日	
	看護師免許		昭和 54年	5月 21日
	保健師免許		昭和 55年	5月 15日
その他 参考事項				

* 担当科目に係る経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

講 師 履 歴

2021年1月22日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	4② 医療との連携とリハビリテーション 8⑤ 快適な居住環境整備と介護 ⑥ 移動・移乗に関連したところからだのしくみと自立に向け た介護			専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 (該当に○)
ふりがな 氏 名	かわせ 川瀬	ゆみこ 由美子	生年月日	昭和 50 年 10 月 14 日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	横浜市寿町健康福祉交流協会診療所		
	職及び 業務内容	デイケア 作業療法士 (平成 21 年 3 月～)		
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務 (科目) 内容	期 間	
	上記	リハビリテーション	平成 21 年 3 月～ 現在	
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日	
	作業療法士		平成 13 年	4 月 23 日
そ の 他 参 考 事 項				

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2022年8月23日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	4 介護・福祉サービスの理解と医療の連携 ① 介護保険制度 6 老化と認知症の理解 ③認知症の取り巻く状況 ④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ⑥家族への支援 7 障害の理解 ①障害の基礎的理解 ②障害の医学的側面、生活障害、心理・行動の特徴かかわり支援等 の基礎的知識 ② 家族の心理、かかわり支援の理解		専任・兼任 (該当に○)
ふりがな 氏 名	すずき なおこ 鈴木 尚子	生年月日	昭和 48 年 4 月 1 日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属 職及び 業務内容	公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会 診療所 福祉に関する相談、助言、指導 (平成 20 年 5 月～)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別) 公益財団法人 横浜市 寿町健康福祉交流協会	担当業務(科目)内容 診療所にて福祉に関する相談、 助言、指導	期 間 平成 20 年 5 月～ 現在に至る 年 月～ 年 月 年 月～ 年 月
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称 社会福祉士		取得年月日 平成 20 年 4 月 14 日 年 月 日

別紙 7

その他 参考事項	担当項目6の「③認知症の取り巻く状況」「④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理」「⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活」「⑥家族への支援」について担当することが適任と判断する理由は、所属する診療所の相談援助業務において、日常的に加齢による認知症者を対象とし、ひとり暮らし高齢者や家族がいる場合でも困難な状況の相談援助を日常的に行っていることが挙げられます。また、診療所内の内科医・精神科医と連携をとりながら、区役所や他病院や介護事業所と業務を行っています。
-------------	--

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2022年8月23日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	6 老化と認知症の理解 ①老化に伴うこころとからだの変化と日常 ②高齢者の健康 ③認知症の取り巻く状況 ④医学的側面から見た認知症の基礎と健康管理 ⑤認知症に伴うこころとからだの変化と日常生活 ⑥家族への支援		専任・兼任 (該当に○)
ふりがな 氏 名	おおつか あきこ 大塚 明子	生年月日	昭和 36 年 7 月 21 日
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会	
	職及び 業務内容	健康コーディネート室勤務 健康づくり・介護予防の推進、個別支援 (令和 4 年 4 月～)	
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間
	横浜市港南保健所	保健師業務(公衆衛生看護)	昭和 58 年 3 月～ 平成 1 年 3 月
	東京都足立区足立保健所	保健師業務(公衆衛生看護)	平成 1 年 4 月～ 平成 7 年 3 月
	横浜市緑保健所	保健師業務(公衆衛生看護)	平成 7 年 4 月～ 平成 18 年 3 月
	横浜市港北福祉保健センター福祉保健課	保健師業務(公衆衛生看護)	平成 18 年 3 月～ 令和 4 年 3 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
			年 月～ 年 月
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日
	看護師免許		昭和 58 年 5 月 9 日
	保健師免許		昭和 59 年 5 月 4 日
			年 月 日
			年 月 日
			年 月 日

別紙 7

その他 参考事項	
-------------	--

- * 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。
- * 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

講 師 履 歴

2022年8月23日 現在

担当科目番号 /項目番号/ 項目名 (複数の科目・ 項目を担当する 場合は、全て記 入すること)	8 ところとからだのしくみと生活支援技術 ④ 生活と家事		専任・ <input checked="" type="checkbox"/> 兼任 (該当に○)		
ふりがな 氏 名	たなか じゅんこ 田中 淳子	生年月日	昭和 39 年 11 月 20 日		
現在の所属 ・職及び 業務内容	所 属	公益財団法人 横浜市寿町健康福祉交流協会			
	職及び 業務内容	健康コーディネート室勤務 健康づくり、栄養指導、個別支援 (令和1年6月～)			
担当科目に関 係のある経歴	勤務先名称 (サービス種別)	担当業務(科目)内容	期 間		
	山脇学園短期大学	栄養指導研究室助手	平成 3 年 4 月～ 平成 5 年 3 月		
	財団法人 河野臨床医 学研究所附属北品川ク リニック	栄養指導	平成 5 年 9 月～ 平成 8 年 8 月		
	横浜市福祉保健センタ ー健康づくり係	栄養指導	平成 11 年 4 月～ 平成 25 年 3 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
			年 月～ 年 月		
担当科目に関 係のある資 格・免許	名 称		取得年月日		
	管理栄養士		平成 5 年	7 月	15 日
			年	月	日
			年	月	日
			年	月	日
そ の 他 参 考 事 項					

* 担当科目に関係ある経歴欄は、講師基準を満たしていることがわかるように必要な事項を詳細に記入すること。

* 資格・免許の取得年月日欄は、必ず免許証等を確認の上、年月日まで正確に記入すること。

